

近代日本文化研究Ⅱ

科目ナンバリング JLT-102
必修 2単位

細田 明宏

1. 授業の概要(ねらい)

近代日本における音楽文化のあり方について学びます。明治期には、近代国家が成立するのに伴い、西洋から入ってきた文化が日本に定着していきました。その過程において、一般の人々の文化はどのように変わっていったのでしょうか。本講義ではそのような関心にもとづき、近代以降の音楽文化の変化について、いくつかのトピックを取り上げて見ていくことにします。

2. 授業の到達目標

近代日本における音楽文化について基礎的な理解を得ること、そしてそれを他人に説明できること。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験(60%)、小テスト・レポート(20%)、平常点(20%)を合わせて評価します。なお期末試験に代えてレポートを課す場合もあります。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

事前に授業内容の概要を配布(PDFファイル)するので、それを読んでおくこと。なおその概要は、プリントアウトまたは要点をノートに書くなどして授業に臨んでください。

6. その他履修上の注意事項

吹奏楽について、インターネット上の動画など手軽に触れられるものも多いので、できるだけ触れてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 日本における西洋音楽
- 【第2回】 黒船と音楽
- 【第3回】 黒船内でのパーティー
- 【第4回】 近代における軍楽
- 【第5回】 鼓笛隊とラッパ
- 【第6回】 日本における軍楽隊(確立期)
- 【第7回】 日本における軍楽隊(自立期)
- 【第8回】 儀礼における洋楽
- 【第9回】 民間バンド
- 【第10回】 少年少女音楽隊
- 【第11回】 初期映画の音楽
- 【第12回】 広告の音楽
- 【第13回】 大衆音楽への展開
- 【第14回】 明治期の音楽教育
- 【第15回】 まとめ(期末試験)